

学校経営方針を承認していただきました

～第1回学校運営協議会の開催～

5月28日(水)、第1回学校運営協議会を開催いたしました。会では、子どもを中心に据え、時代の変化に即した“変革”と“挑戦”をしながら、学校教育目標『自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成』をめざしていきたいという今年度の学校運営方針についての承認をいただきました。

委員の皆様には、子どもたちの授業の様子もご覧いただきました。先生たちが子どもの実感を大事にしながら教えようとしていることに感心されていました。

また、「学校は楽しい場所であることが大切である」という貴重なご意見もいただきました。

さまざまな教育活動を通して、子どもたち同士、また子どもたちと教職員がしっかりとつながることを大事にし、子どもたちがやりがいや満足感を味わえるよう、自発性を大切にした教育活動の充実を図り、楽しい学校づくりをめざしてまいります。



「もったいなくて使えません・・・」

～全校での県立美術館・県立図書館の見学～

5月29日(木)、全校で県立美術館(OPAM)と県立図書館の見学に行きました。県立美術館の見学は、開館10周年記念展覧会への県主催小学生招待事業に参加したものです。

バスに乗ると会話が弾み、子どもたちのわくわく感が大変伝わってきます。

県立美術館に到着。2階の学習室に移動すると、この日も子どもたちと一緒に館内を巡ってくださるガイドの皆さんが待っていてくださいました。ガイドの方の「たくさん作品を見ながら、“すてきな”“うちの人に紹介したいな”と思う作品を見つけてほしいです」とのお話の後、6グループに分かれて作品見学に出発です。

私は5年生のグループに同行しました。ガイドがまず、2階フロアに置かれてある長椅子に子どもたちを座らせます。「この椅子は、紙でできているんだよ」とお話しすると、子どもたちは「紙!!」と驚きの声をあげます。目の前の頑丈な椅子が、まさか紙でできているとは、私も驚きです。

いよいよ展示室に入ります。そこには、県内をはじめ、県外・海外作家による世界的名品や国宝・重要文化財を含む貴重な作品が展示されています。



東山魁夷「冬華」の絵画の前で、ガイドが「どんな塗り方をしているかな?」と、塗り方に着目させます。顔を近づけてみると、箇所によって塗り方が異なることに気づきます。改めて作品から離れて全体的に見てみると、静寂の中にあり、それでいて見る者に訴えかける自然の美が描かれています。絵画の見方のひとつを教わった子どもたちです。

屏風の作品では、見る角度によって屏風に描かれている絵の見え方が変わることを教えてもらい、どの角度からの絵がよいか、それぞれ見つけることもしてみました。

ピカソのお皿のコーナーの時のことでした。ガイドが、「このお皿の上に何を乗せてみたい?」と、子どもたちに問いかけました。すると、5年生の子が、「もったいなくて使えません」との返答。また、低学年の子は、見学の後に「ピカソのお皿を持って帰りたい」とお話してくれました。このように、子どもたちの受け止めはさまざまでしたが、芸術作品が子どもたちの中に新鮮なインパクトを与え、印象深いものになりました。

子どもの感性を育む上で、このように本物に接する機会はとても大切です。今回の展覧会では、パブロ・ピカソやクロード・モネ、ポール・セザンヌ等、なかなか目にすることのない世界的に有名な作家の作品との出会いもあり、子どもたちにとって大変貴重な経験となった美術館見学となりました。

県立美術館に続き、県立図書館の見学です。到着後、研修室をお借りして昼食をさせていただき、13時から見学開始です。

まず、係の方から県立図書館についての説明がありました。県立図書館は124万冊を所蔵しており、本を重ねると飛行機が飛ぶくらいの高さになることを知ると、驚いている子どもたち。また、1日平均して千人の方が利用し、それぞれが読みたい本が異なるためにたくさん本を所蔵していることや、県立図書館から地域や学校の図書館に本を貸し出していることも教えていただきました。

その後、図書館の中を、低学年・中学年・高学年の3つのグループに分かれて巡ります。利用者が使うスペースだけでなく、一般の利用者が立ち入ることのできない地下の書庫も見学させていただきました。

短い時間ではありましたが、最後に読書も楽しみました。

行きのバスの中で、「すみっこのかくれんぼ」の本があるかな」と語った1年生の子。早速探したのでしょうか。すると、貸し出し中とのこと。係の方から、返却後にこの本を近くの図書館で借りられる手続き方法を教えてもらい、うれしそうにしていました。

子どもたちは、県立図書館の広さや所蔵の数、種類の多さに驚きながら、身近な図書館との違いに気づくことができた見学となりました。